

令和7（2025）年度 第3回社会教育委員会議 議事録

1 日時

令和7（2025）年11月18日（火） 午後3時～4時30分

2 場所

市民プラザ2階 風の部屋2

3 出席者

【出席委員】 清水委員、小山委員、森委員、村田委員、遠山委員、高橋委員、櫻井委員、矢内委員、中村委員、本間委員、蓮池委員 [計11名]

【欠席委員】 田辺委員、金子委員 [計2名]

【事務局】 西巻文化・生涯学習課長、企画管理係員3名 [計4名]

4 概要

（1）議題

ア 第五次生涯学習推進計画の策定について

- (ア) 第四次生涯学習推進計画では重点目標に基づき、府内各課で施策や事業を行った。これらは令和8（2026）年度以降も引き続き行うこととなる。
- (イ) 第五次生涯学習推進計画では四次の施策や事業を掲載せず、進行状況も当課では管理しない。新たな段階として、今後生涯学習をどう進めていくかに主眼を置く。
- (ウ) 重点目標として以下の3つを定めたい。
 - a 「学習機会（講座）などの提供」（目的：生涯学習を始めるきっかけの提供）
 - b 「継続につながる支援」（目的：現在も取り組んでいる人が今後も継続できるように）
 - c 「『生涯学習』という言葉の認知度向上」
- (エ) 本計画には委員の名簿を載せたい。

【主な審議】

1. 学校教育活動（小中学校）では生涯学習を位置付けていない。
2. 生涯学習は多くの高齢者が取り組んでいることから、高齢者という言葉を加えたらどうか。

〔事務局〕現状、多くの高齢者が生涯学習に取り組んでいることは承知し

ているが、生涯学習推進計画としては若い人を含め、年齢年代にかかわらず進めていきたい。

3. アンケートから、「生涯学習」という言葉の認知度が低いという結果が出ている。市内で開かれる講座に「柏崎市生涯学習」という言葉を冠すれば認知度向上になると思う。また、「柏崎市生涯学習」のロゴを作ってみるのはどうか。

〔事務局〕認知度の向上に向けて、ロゴの作成やホームページの掲載方法など、認知度向上に向けた対策は検討中である。

4. 学習機会を得るという点で、インターネットを使って遠隔地で受講できるのは良い。

〔事務局〕受講料が発生する講座は、オンライン形態の場合、申し込んでいない人が受講できてしまうなど課題はある。

5. 本計画には「柏崎市で育てたい人材」に向けた講座等があるとよいのではないか。

〔事務局〕そういうビジョンはない。まずは生涯学習に触れてもらうことが大事であると考えている。

【審議結果】

重点目標として、

1. 「学習機会（講座）などの提供」
2. 「継続につながる支援」
3. 「生涯学習の理解促進」

を掲げ、本計画には委員の名簿を載せることとなった。

本計画で「生涯学習」という言葉の認知度向上を図るにあたり、「重点目標に入れないと入れる」との両方の意見が出たが、重点目標は「生涯学習の理解促進」とし、「生涯学習」という言葉の認知度向上は、当目標の基本方針として賛同となった。

基本理念は第2回会議で審議された「未来を見据え ともに学びあう 活気あるひとづくり・まちづくり」のまま変わらない。

(2) その他

予定していた「社会教育委員の自主研修」は次回第4回会議にて審議する。